

御嵩町及び御嵩町議会新庁舎等整備事業懇談会 第5回懇談会 議事要旨

日時:令和6年7月16日(火) 午後1時から午後6時50分

場所:御嵩町役場 本庁舎2階 第1委員会室

出席者:御嵩町議会議員全12名、御嵩町長ほか関係職員12名

～前回の振り返りと事前質問に対する質疑応答～

議員

第三者委員会調査報告書の町民説明会の議事録はいつアップしたか。

町

7月の中旬にホームページにアップした。新庁舎の経緯というページでご覧いただきたい。

議員

可児川のハイウォーターレベルは、堤防のどの位の高さか。

町

出水期の水位高さは標高 122.47mとされており、計画地の標高は 124.8mである。高さの差としては2.4mほどとなる。

～第5回論点:現3施設の安全対策について質疑応答～

議員

中児童館について、現地は売りに出してテニスコートに仮設を建てる。現庁舎の扱いについては空き家になる。町として空き家対策をしているのに、自ら空き家にしておいて良いのか。目標とする Is 値を0.6とした補強工事が出来ないのか。戻れば駐車場問題が解決できる。

議員

防災災害拠点となる庁舎の環境を整えるために最低限の応急対策をするべき。新庁舎完成までに時間がかかるので、それまでの間の対応として仮庁舎等の整備を早急に。また中保育園は必要な改修をするべきで、中児童館は完成まで仮設を建設するべき。

議員

庁舎について、だいぶ時間がかかることを考えると分散してしまうのはどうかと思う。中保育園はガラス飛散防止、床修繕、雨漏り対策をしてほしい。中児童館は喫茶店跡地よりもテニスコート敷地にした方がよいのでは。喫茶店跡では事務所と図書コーナーのみとなってしまうので狭い。

町

中児童館はコンクリートブロック構造であり、耐震補強計画を立てた上で設計をし、工事実施することになる。相当大掛かりな補強計画になると考える。新築にした方がよいのではという話も聞いている。

議員

テニスコート敷地に仮設を造った場合に現在の中児童館敷地が870㎡でテニスコート敷地が1100㎡なので有効な面積が確保できる。屋外の遊びでボールが外に出て行くリスクもない。仮設の場合、遊戯室の費用がかかるのでは。当時の活性化研究会の記録者はだれか。

町

当時、議会事務局長であった私です。

議員

仮設遊戯室の費用はどの程度か。庁舎の耐震補強は。

町

中児童館の仮設遊戯室をテニスコートに建てた場合、5年リースで約1億円と試算する。これはコンサルに聞き取りした上で試算した。実施設計等はしていない。庁舎については、現庁舎の補強のみで5億円程度と試算する。確保するIS値は0.9の想定である。

議員

かつての耐震補強工事の1億8000万とは何の数字か。

町

耐震補強費単体の工事費である。

議員

そんな話であったか。ある程度改修が入っているはずでは。喫茶店の賃料は。

町

第2回懇談会の資料中にも示しているが、現在は改修に5億円程度かかりさらに仮設庁舎の費用もかかる。喫茶店跡のリース料に関しては確認しないと分からない。

議員

喫茶店跡地については、テーブルなどは置いたままなのか。

町

それに関しても確認しないと分からない。

議員

喫茶店跡地であれば駐車場もついている。

議員

喫茶店跡地は交通量が多く危険である。現児童館の方が遮断されていてまだ安全である。テニスコート敷地の持ち主は誰か。

町

太陽社電気の所有である。敷地を借りることについてはまだ確認をとっていない。

議員

テニスコート横の社宅は使用されているのか。

町

太陽社電気に確認をしていないが、使用されているようである。

議員

保育園西側は亜炭鉱の地下充填がすでにできている。

議員

テニスコート敷地に仮設を造るとしたらどのくらいの大きさか。

町

既存のもので考えると350㎡程度かと考える。

議員

仮設を建設して新築移転するのであれば、その場所で新築した方がコスト的にはよいのでは。整合性が取れるか、納得が得られるのか。

議員

用地の話が太陽社電気と出来ればここで新築した方がよい。用地の問題があるので安易には言えないが。

議員

雨の日の屋内遊技場の使用率は。

町

天候別には調べていない。

議員

雨の日に子供たちがあまり来ないのであれば図書コーナーのみでもよいのでは。

議員

中公民館のオアシス教室は以前図書室であった。2階、3階でスペースが確保出来るのであれば臨時的に児童館機能を置いても良いのでは。今あるものをなるべく有効利用した方が賢い。駐車場も確保できる。出来るだけ費用をかけず安全に将来に繋がる利用ができる方策であればよい。

議員

既存の施設を利用するのは普通の考えである。

議員

不動産屋に相談してみるのがよいのでは。

議員

企業は遊閑地であっても福利厚生面で使用していなくても確保する必要がある場合がある。老人憩いの家などもどうかと思う。

町

中児童館に関しては、耐震補強および利用休止の案はなしでよいか。

議員

異議なし。

町

仮設遊戯室は必要であるか。

議員

需要が分かっていない。

議員

350㎡の全てが仮設でなくてもよいのでは。

議員

サービスの低下につながる。庁舎も保育園も児童館も平等に扱うべき。

議員

中公民館の昼間の利用はそれほどあるのか。共存できる道はないのか。昼間は児童館、夜は公

民館というような。

議員

児童館の代替場所は3階ホールしかだめなのか。

町

どの程度の広さを必要とするかにもよる。各部屋ごとの使用状況は調べないと分からない。

議員

児童館機能を中公民館に持っていくとしたら、どれくらいの面積を必要とするかをまず調べ、残りのスペースを公民館として使用してもらうのでどうか。

町

児童館の屋内遊戯はある程度の高さを要するので2階では難しい。ボール遊びやバドミントンは2階の会議室では出来ない。

町

中公民館を借りるとなると、屋外の遊戯は無しとしてよいか。

議員

3階のホールを使えばよいのでは。

議員

学校との共存もだめなのか。

町

では、中児童館については耐震補強と施設休館の案はなし。費用は押さえることを意識する、どこにするかは相手先を確認しないと結論が出ない。他の場所もしくは他の施設に移転案の方向とする。耐震補強をしないのであれば取り壊すということによいのか。

議員

仮設がかかるのであれば、移転しないで建て替えた方がよい。

町

現庁舎についての考えは。

議員

北庁舎が住民対応の場所になるのでは。

町

一方で、2階や3階へ住民の方に上がってもらうのは不便とも考える。

議員

想定する仮設の面積はどのくらいか。

町

執務レイアウト検討業務をやってみないと規模感が分からない。1階建てか2階建てかも分からない。場所についても西側駐車場か東側駐車場かも決まっていない。

町長

サーバーなどシステムの関係も考慮する必要がある。

議員

土砂災害対策を図り使用するのか。早く造ることを前提に我慢してという話をしてきた。どこま

で手当するのか。100%というわけにはいかない。

議員

若宮地区の長老から話があった。役場裏の神社が過去500～600年に山が崩れたことはないとのこと。出来れば保健センターを残した方が良いと思う。庁舎と一緒になければならないという理由はない。

議員

愛媛県でも思いがけない所で土砂災害があったので、危険区域であれば対応すべきと思う。

議員

伏見小学校の仮設はリースなのか。

町

リースである。

町

保健センターを新庁舎に入れようと思えば面積的には入る。その点のご意見を聞きたい。

議員

移すとしたら北庁舎の跡地利用は。

町

商工会が入居したいという声を聞いている。そのほか民間からの入居希望もあるかもしれない。1階は絨毯になっているので、放課後児童クラブなどで開放することも考えられる。

議員

北庁舎は土砂災害警戒区域だから民間を入れるのはどうか。

町

その場合は土砂災害対策をした上でとなる。リスクのある北庁舎1階は使用せず、2階や3階を使用するという考え方もある。商工会も2階を希望している。その場合、土砂災害対策は不要ではないか。

町

保健センターを移転するとなると、スペースの縮小や委員会室をなくす案も考えられる。

議員

委員会室なくなるのは構わない。

町

構造の変更には合意頂いているので面積を生み出すことはできる。現敷地案の中でどこまで納められるか。3階という議論も出来るがコストはかかる。

町

選択肢としては3階もあり得る。面積確保のため横に広げるのか上に広げるのか。

議員

まずは保健センターを移転するかどうかを話し合わなければ。

町

議場が普段使われていないのはもったいないとのパブコメ意見もあった。

議員

それは重々承知している。

議員

町としては保健センターを移転したいのか。

町

移転しても良いと考えるが、住民ニーズによる。

議員

保健センターを現在地に残すとなったら、土砂防止擁壁の対策が必要となるのか。

町

当然必要と考える。ちなみに先日開庁した本巢市では、保健センターは元の場所に残っている。

町

町としては土砂災害の危険性の議論から始まっているので、町民から認めてもらえるのであれば保健センターの移転を前向きに考えればよいと思う。設計してみないと描けない部分がある。

議員

検診があると駐車場の確保は大丈夫か。

町

駐車場は現庁舎より広くなるので問題ないと考える。

町

おさらいとして、中保育園は老朽化対策と安全面の修繕対応、中児童館については現施設は取り壊して仮設をどこにするかは先方の確認が必要であり、安全対策をしていく。庁舎については耐震化は費用がかかるので実施せず、仮設庁舎を建設するがレイアウト業務を確認した上で提案する。保健センターは新庁舎に設計上は入れることが可能であるが、町民の意見を聞いたうえで判断していきたい。

議員

意見をどうやって聞くのか。

町

町民説明会の場で聞きたいと思う。保健センター利用者の声も聴きたい。

議員

説明会に参加する人の声ではなく、実際に保健センターを利用している人の声を聞かなければならない。児童館の取り壊しは早急に実施したいのか。

町

危険な建物を所有していてもいけないので、方針が決まれば早急に実施したい。

～3.7ha に関して質疑応答～

議員

河岸浸食について具体的な対策は。

町

地盤改良のほか、保育園施設を河岸浸食エリアから外すこと。建物を少し南へずらす。

議員

駐車場建調整池を少し下げると思うが、具体的にどれだけ。

町

造成設計をしてみないと分からない。排水基準によりどこまで下げられるかによる。

議員

3.7haを前提にしているが、基本構想時の2haから基本計画で3.7haに変更したプロセスが無い。

町

基本構想から基本計画を検討する段階で防災広場が必要となったと認識している。ただし防災広場単体について議会と深い議論をした記録はない。基本構想は平成30年7月に策定している。ちょうどその頃、関市の中坪川で豪雨災害が発生しており、防災活動拠点の重要性を町としてあらためて認識したタイミングではないかと推察する。

議員

もともと2haでよかったけど、3.7haにしてしまえという発想になったのでは。

町

防災広場の必要性については、議会でも北方町視察の際に必要性を感じたのではないかと。

議員

当時の特別委員会の委員長として、北方町の防災広場を見て、面積を多くとれば防災上有意義に活用できるのではという議論はした。防災広場が欲しくて面積を広くしてほしいというわけではなく、将来的なレイアウトを考えた時に広い土地を求めるということになった。スマートシティという考えもあった。公民館等施設の集約化の考えもあった。造成費については執行部に任せて議会が提案した土地の中で設計をしてもらった。

議員

土地代としては安いですが、造成費が大きいのでなぜ面積を大きくしてしまったのかが露見した。検証せずに3.7haになってしまったことは大いに反省すべき。保育園と児童館について、児童館と一緒にフェンスで囲って管理が出来るのか。管理が同じだからというだけで一緒にする必要があるのか。

町

安全確保の面で最低限必要であるということを示した。敷地内でセパレートするかは杉山第三学園との協議による。

議員

河岸浸食について、レイアウト上動かすことのほか川の中の護岸工事により対策ができるので、従前のレイアウトで出来ないのか。

町

護岸対策については、可児川は一級河川であるため岐阜県の判断による。ちなみに可児市役所は建物の9割近くが河岸浸食エリアであるが、特段対策をしていることはない。

議員

要配慮者の駐車場はあるか。

町

庁舎建物の前面に配置する予定である。

町

それでは現計画のまま進めることはしないということの合意についてはどうか。

議員

レベル感が異なる。

町

庁舎の位置についてはどうか。

議員

現計画地で OK と思う。

町

3.7ha すべて購入については。

議員

反対の意見があるのであれば、全員合意というのは難しいのでは。

町

町としては出来るだけ合意が増えればと考える。

議員

中保育園、中児童館部分が不要なので反対。その部分の用地はいらない。防災広場は広ければいいというのは有効ではない。南山公園もある。災害時は学校のグラウンドも使える。一極集中の必然性は低い。3.7ha の構想を維持するための考えにしか聞こえない。用地はかなり削減できる。ある程度の駐車場は必要であるが防災広場と兼務できる。

議員

3.7ha を明確にすべき。これまでのプロセスの中での検討はなかった。購入と計画はワンセットである。3.7ha 購入して2ha だけ使用することが出来ないのであれば反対せざるを得ない。

議員

私も議員と同じ。出来るだけ総額を抑えるためにも面積はいらないのでは。

議員

北側を下げる効果が面積を下げるのと同じくらいの効果が出ればよい。

町

どの部分を減らすのか示して頂かないと地権者との関係がある。

議員

どこかははっきり言えない。町側も随分譲歩してくれた。どれくらい減らせるかの条件付き合意である。目に見える形で減らしてほしい。

議員

減らすにも限界があるので、どこを減らすか示すべきでは。

議員

東西道路から南で約2ha あるので、それで十分だと思う。

町

では現計画3.7ha 全て購入に賛成が多数、反対は少数とする。

議員

ある程度方向が見えたので、具体的な資料を出すべきでは。大体意見は出揃っている。

町

機能や規模にしてはワークショップ等を開催して決めていきたい。総事業費の縮減については、必要なものは減らさずに削減に取り組む。

議員

総事業費は50億円を目指すべき。

議員

事業費縮減の徹底的のレベル感とは。

町

庁舎機能を損なわない程度にということ。

議員

徹底的の中にホールが入るのであれば反対。減ることは良いが同時に機能性が下がっていく。

町

町民ホールについては、町としては今計画では休止をして予定地を防災広場として整備の再提案をした。

議員

防災広場とホールであればホールとの考えである。夏の暑い時期に広場にテントは張れない。ホールがあるからこそ外に防災広場の意味があると防災面では思う。ホールと広場はセットで考えている。

議員

ホールはあってよい。ただ造ってからどのように有効活用していくかが大切。ホールがないのであれば中公民館の大ホールを整備しておかないと町民は納得しないのでは。

議員

別の場所にホールを建てることを検討というのは効率が悪い。防災という意味が通用しなくなる。

議員

第三者委員会の評価を尊重してホールについて議論があまりされていなかったのであれば重く受け止めるべき。防災拠点に建物はあまりない。町民ホールという意味では必要ないのでは。ここしか削る所がない。

議員

ニーズを聞かずに休止というのはどうかと思う。

議員

町民ホールは皆が欲しいと思う。防災機能を備えたホールは県内にもまずないと思う。必要経費がどれくらいか出して検討しないと、造っても宝の持ち腐れとなってしまう。いったんは休止として立ち止まった方がよい。

議員

議論を残したまま休止なのか。

町

今計画では休止としているので、庁舎、中保育園、中児童館、防災広場が出来るまでは休止。完成してからの議論となると考えている。

議員

なぜ完成してからなのか。休止して費用は今後捻出できるのか。

町

財源としては緊防債を使つてのホール整備になると思う。

議員

元々の議論は、庁舎整備の計画が金額が大きくなり考え直すところから始まっているのでどこかを削らなければならない。個人の意見としてはホールが欲しいが、費用を削らないと町民の理解が得られないので我慢する。結論を出さなければならないのだから執行部の意見に賛成して町民に説明していく。

議員

ニーズの調査をして、ニーズがないのであれば拘る必要がなくなる。理解が得られないというのは主観の部分である。財政シミュレーションを見ても破綻するわけではない。総額を減らすという意味が分からない。

議員

町民の最終的な理解を得られるような行政施策を考えなければならない。民意は相当厳しい見方をしている。そこを重視して今までの計画を見直しして最低限必要なものを確保することが原点である。まずは庁舎である。防災は一極集中ではいけない。休止というのは将来的に必要性が発生すればもう一度協議しましょうというもの。

議員

据え置くのは分かるが、防災ホールの議論が無かったという理由で数回の懇談会でやめてしまうのはどうか。

町

あくまでも今計画では休止である。町民の理解を得ていくことを考えると、100億を超える額は理解してもらえない。スピード感を持って計画を進める点からも一旦休止とする。

議員

町民への理解ということで額を下げたいという気持ちは分かる。場所の再検討はニーズも含めて行うのは必須。休止以上のことは現状言えないと思う。執行部の提案する休止がやむを得ない。

議員

休止に賛成。最優先課題がある。ホールの活用の仕方について議論が出来ていない。

議員

防災広場②が西へ変更された。将来的にホールを建設するとなったら防災広場として確保しておくべき。他の場所で建設できるのか。夢をつなぐということであれば西より東の方が良いのでは。

議員

防災ホールとして建設して文化的に利用するのは一石二鳥である。グッドアイデアだと思っていた。他市町村で防災ホールとして建設しているところが多い。文化ホールの意味合いとしては物がなければ使えない。ホールが無いから活用できない。費用負担が大きいのであれば休止でもやむを得ない。将来的に施設は集約していった方が良いと考える。町民の理解が得られないのに押し通すことは出来ない。

町

町としては保健センターを新庁舎に入れることが出来るのではと提案するので、災害時に保健センターでまずは高齢者を受け入れることが出来るのではと考える。

議員

ホールに賛成してきた。あまり議論されていないということなので議論するべきではとも思う。コロナが明けて考え方も変わってきた。スピーディーに進めなければということなので休止はやむを得ない。ただし、休止にするからと言って議論をやめるのではなく議論する場は持ってほしい。

議員

スピード感を持って進める、町民への理解、総額を抑えるという意味で休止に賛成する。今後灯を消さないで議論をしてほしい。中公民館3階ホールを何とかしてほしい。

議員

ホール休止に賛成。町民の意見を聞きながら将来的にはどこかに建てるという説明をしてほしい。中公民館は音響が悪い。ホールを建てるまでの間は中公民館の状況を改善してほしい。

町

町の提案に概ね賛成していただいたということでよいか。中公民館活用の議論、ホールについての議論の継続の意見が出た。

議員

必ずニーズ調査をしてほしい。

町

庁舎の構造の変更は全員賛成。防災広場については町民の意見を聞いた上で必要なものは整備していく。憩いの場としての活用も含めて。

議員

憩いの場の具体的なものは。

町

公園遊具の整備などである。

議員

平時の有効活用を考えなければならない。照明はあってもよいのでは。

議員

遊具を設置するとしたらどこか。

町

防災機能を損なわないよう広場の端の方になると考える。

議員

排水の問題がある。盛土が一番削れるところである。可能性だけ残してほしい。

町

盛土購入について、出来るだけ土にはお金をかけない交渉をしていく。中保育園、中児童館については条件付きの賛成も多数あった。河岸浸食エリアから出来るだけ遠ざけるという意見があったので、河岸浸食エリアから離れる案とした。認定こども園を視野に早期に整備する必要がある。

議員

テニスコートに1億かけて仮設で2億かけるのはお金がかかるので、最初からテニスコートに新設するのがよい。保育園と児童館を一緒にすることに納得できない。セットにする必要があるか。

町

セットで公募にかけている。

議員

児童館は園庭がないので防災広場を使用するということであるが、保育園の園庭は使えないということか。

議員

それは杉山第三学園の判断では。

議員

保育園の園庭が使えると良いと思う。児童館までフェンスで囲うのはどうか。

町

運用の仕方については考える必要がある。

議員

防災広場が使えるのは良いと思う。遊具を設置すると児童館利用者が使えるので賛成。

議員

防災広場の遊具は小さな子どもが使えるように思っているのですが、大きな子が使ってしまうと使えなくなる。防災広場①にも遊具を設置出来ないか。

町

金額にもよります。

議員

現在の中児童館に設置してある程度の遊具を考えている。そんなに大きなものではない。

町

認定こども園化を視野に現計画地に移転ということについて、○議員は反対、○議員はテニスコートに児童館を整備という意見でよいか。

議員

公設民営と民設民営を同一場所に整備して将来的に片方だけを放棄したいということになるといけない。

議員

それは契約上の問題。

議員

本来は別々の場所でも問題ない。

町

杉山第三学園ありきではなく、町として保育園と児童館を民設民営と公設民営でやりたいと募集をかけて杉山第三学園が応募して決定した経緯がある。

議員

将来的に管理者が変更する可能性がある。

町

その可能性はある。

議員

そうであれば同一敷地内という必要性はないのでは。

町

同一敷地と見るか隣接敷地と見るか。園庭を防災広場にすればフェンスで囲えば別のものとして利用できる。

議員

移転後の跡地利用について、約17450㎡が遊休地になってしまう。跡地の利用計画も含めて計画である。木材調達について、今後保管だけで年間1000万円の費用がかかる。構造が変更されたので、内装に使用するものを除き検討してほしい。

町

跡地利用の検討は必要である。懇談会の中で跡地利用まで考えていくのは難しい。懇談会が終わってから考えていく必要がある。

町

木材保管については、できるだけ安く保管できる場所を探している。

～取りまとめ案について質疑応答～

議員

この事業に対する思いの部分を打ち出してほしい。

議員

それぞれの立場があるので文章中に入れるのはどうか。

議員

文章に入れるわけではなく、考えてほしいということ。

議員

ホール休止反対なので盛り込んでほしい。中児童館について仮設の話が抜けている。

議員

同じく、仮設、別の場所を考える等加えた方がよい。

議員

完成版は公表されるのか。

町

公表したいと考えている。

町

取りまとめ案については7月26日に確定したい。懇談会は7月31日までなので、ホームページにて懇談会終了は周知する。

町長

車座を含めて色々な意見を聞いてきた。費用面を含めて住民感情が一筋縄ではいかないことを肌で感じた。懇談会は合意形成に向けて非常に重要な場であった。基本は一枚岩として今後も進めていきたい。

議員

合意形成出来た部分、そうではない意見も出た。何も質問しない人も理解は出来たと思う。議会はイエスかノーの苦渋の選択をしなければならない。向かう所は町も議会も同じ。町民の幸せのために先を見つめながら進めていくのが役目である。今後も執行部と協議できる形で議会を進めていきたい。